

# 高め合おう『授業力』！磨き合おう『教師力』！

栃県総合教育センター 平成21年3月

今、授業力を高める手立てとして、ワークショップ型授業研究会が注目されています。

よい授業とはどういうものか、改めて考えさせられました。

授業改善のための新たな発見ができる。

こういう授業研究会ならまたやりたい。

・・・研究協力校の先生方の声です。

## 授業研究会における教師の学び

### 授業公開

- (例)
- ・ 授業の意図や観察のポイントの提示
  - ・ 児童生徒の見取りを中心に授業観察

授業者

教師相互の学び  
～同僚性の向上～

参加者

参加者

参加者

参加者

子どもへの支援が、適切でしたね。私も、ぜひ授業に取り入れてみたいと思います。(教師の指導・支援)

表情やしぐさから学びの様子が見取れました。自分の授業での支援や形成的評価に生かします。(児童生徒理解・評価力)

なるほど、いろいろな見取りや、解釈があるのね。するとAさんのあのときの姿は、まさに「学びの瞬間」だったのね。(様々な事象との関連)

そもそも本時のねらいの設定は適切だったのかな？単元のねらいを、もう一度分析してみるのもいいね。(授業設計)

実際には、事前に協議する視点を絞って授業を観察し、授業研究会を進めることが有効です。

**授業研究会は、すべての参加者に授業や児童生徒に対する様々な「気付き」を促すよい契機となります。**

本リーフレットでは、研究協力校のワークショップ型授業研究会の取組を中心に、授業力の向上につながる校内研修の工夫や在り方についてお伝えします。授業研究会のステップアップを目指して、ぜひご活用ください。



### ～校内研修研究協力校紹介～

宇都宮市立今泉小学校	p2	足利市立名草小学校	p3
鹿沼市立加蘇中学校	p4	さくら市立喜連川中学校	p5
県立宇都宮清陵高等学校	p6	県立栃木農業高等学校	p7



# 宇都宮市立今泉小学校



所在地: 宇都宮市元今泉1-7-29  
教職員数 37名  
学級数 普17、特支3

以前から、付箋を用いた授業研究会を実践してきました。本年度は学力テストなどの結果から、すべての学年で国語科の「説明的な文章の指導」の充実を共通の課題として焦点化し、ワークショップ型の授業研究会を行いました。

## こんな成果が上がっています

### ポイントを絞った研究授業・授業研究会の実施

付箋に記入する内容等について全員で確認する場を設けてから、研究授業での観察・ワークショップ型の授業研究会を行いました。

### 全員が参加して行う教材研究や指導案検討

全員が授業を公開することとし、ブロック（低・中・高）で協力し合って、教材研究や指導案検討を行いました。すでに実践された授業のよい点を生かして、自分の授業づくりにつなげました。

### 少人数のグループ分けを工夫

授業研究会では、メンバーを固定せずに、その都度グループの分け方を工夫しました。多くの同僚の意見を聞くことで、参加者それぞれが自分の指導を振り返るよい機会となりました。



子どもたちの表情が見取れる場所で観察



今回は付箋を時系列に並べてみる

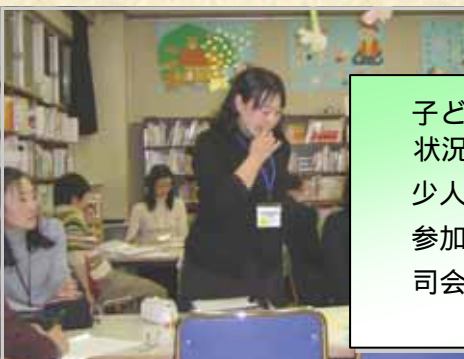


貼った後で、分類してみる

## 今後の課題は・・・

子どもの姿を基に、教科としてのねらいや指導の手立てなどについても、話し合いを充実させること。深まりのある話し合いになるように、進行の仕方や協議の焦点化などを工夫すること。  
全員の教員が公開授業に参加できるように、日課や授業研究会の持ち方（設定時間）を工夫すること。

## 先生方の声



子どもたちの学びの様子を観察することで、学習に対するレディネスや取組状況の違いをとらえることができました。

少人数での協議ということもあり、和やかな雰囲気でも話し合えました。

参加者から感想や意見をもらえるので、やる気をもって取り組みました。

司会者（プロンプター<sup>1</sup>）を輪番制にして、全員が体験したいと思います。

<sup>1</sup> ファシリテーター（促進者）とも呼ばれ、協議等の調整役も務めることになります。



所在地: 足利市名草中町1151-1  
教職員数 13名  
学級数 普6

# 足利市立名草小学校

平成18年度に「幼・保・小連携推進充実」の研究、小教研家庭科部会の研究、平成19年度は、算数科における少人数指導に関する研究を進めてきました。本年度は、図画工作科指導の充実を学校課題として、授業研究会を行いました。

## こんな成果が上がっています

### 全員が役割を分担する授業研究会

全員で指導案検討を行うとともに、授業研究会の司会や記録、ビデオ撮影などを、輪番制で行いました。このことで、授業研究会への参加意欲が高まりました。

### 授業研究会で確認された課題の解決に向けた研修の実施

1回目の授業研究会で確認された課題を解決するために、外部講師による図画工作科の研修会を実施しました。子どもたちに技能を身に付けさせることに加え、表現や鑑賞の活動を楽しませることの重要性を確認するよい機会となりました。

### 校内研修と校外研修・自己研修との関連付け

教職5年目・10年目研修と校内研修とを関連付けて研究を行いました。校内の協力体制の中で、年間を通じて自分の研究課題を意識しながら授業に取り組むことができました。また、校外で開催された図画工作科の研修会に参加した教員が、校内研修で研修内容を伝達し、全職員で効果的な指導法を学び合うなど、様々な関連付けを行いました。



子どもたちの正面や横からの観察が有効



思いや考えを伝え合う様子



分類したグループにタイトルをつける

## 今後の課題は・・・

授業研究会の目的の明確化と、教材観、指導観に迫った授業研究会を展開すること。

授業研究会で授業や児童について語り合ったことをきっかけに、日ごろから話し合える雰囲気をつくっていくこと。

### 先生方の声

授業研究会の進行をする場合は、司会者があまり話をし過ぎずに、参加者の意見を引き出すことが大切だと感じました。

授業の中で、子どもの学びや意欲が、刻々と変化していることが分かりました。子どものしぐさやつづやきをもっとよくとらえて、一人一人を生かす授業をしたいと思いました。



# 鹿沼市立加蘇中学校



所在地: 鹿沼市加園1841  
教職員数 14名  
学級数 普3

平成18年度から継続して「豊かな心をもち、自ら学び、自ら考える生徒の育成 - 基礎学力の定着を中心として - 」をテーマに、教科の枠を超えて全員が授業を公開し合い、授業研究会を行ってきました。

## こんな成果が上がっています

### 実施時間確保のための工夫

普段は5時間授業である月・水曜日の6校時に、特設日課を設定するなど、実施の仕方を工夫しました。研究授業を実施するクラス以外は放課とするため、他のクラスを自習にすることなく研究授業や授業研究会を安心して行うことができました。

### 教科の枠を超えた研修の実施

授業中に見取った生徒の姿や事実を中心に協議するワークショップ型の授業研究会では、各教科の専門的な知識がなくても教科の枠を超えて学び合えることを実感しました。

### 一人の子どもを多面的に見取る訓練

これまで以上に、授業中の生徒一人一人の学びの様子を見取ることができるようになり、小さな伸びやがんばりを見逃さず、認め、ほめようとする意識が高まりました。



生徒一人一人学ぶ姿が違う



生徒の表情やしぐさに注意して見取る



素朴な質問が、指導案検討会の深まりに

## 今後の課題は・・・

単元の構成や本時のねらいの設定の仕方については、それぞれの教員が各教科の専門的見地から研究を深めること。

より多くの先生方から学ぶために、他校や外部教育機関との連携も検討していくこと。

### 先生方の声

自分の教科指導を行う上で、生徒の得意分野を生かした意図的指名ができるようになりました。

今まで以上に、生徒の様子やしぐさなど、反応を確かめながら授業を進める意識が高まりました。

本時のねらいを明確にし、それを達成するために、主発問と補助発問などを考えるべきであると感じました。

# さくら市立喜連川中学校



所在地: さくら市喜連川5691  
教職員数 26名  
学級数 普10、特支1

平成17年度から3年間、「学力向上拠点形成事業(確かな学力育成のための実践研究事業)」の指定を受け、研究を進めてきました。本年度は、全員が授業を公開し、教科の枠を超えて授業研究会を行いました。

## こんな成果が上がっています



一人の生徒に注目して観察する

### 研究授業週間の設定

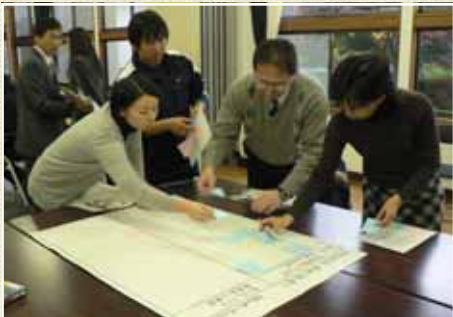
研究授業週間を1年間に3回設定し、お互いの授業を公開・検討し合っています。研究授業週間の中で複数の授業が行われるため、多くの授業を見ることができ、授業改善の意識が高まりました。

### 小グループによる指導案検討会・授業研究会

教科の枠を超えて7~8人の班を作り、それぞれに指導案検討会や授業研究会を計画・運営しています。教科が違っていても、授業づくりの参考になる意見が多く出され、話し合いが深まりました。

### 学区内の小学校への授業公開

学区内の小学校5校に、研究授業週間中、授業を公開しています。小学校の先生方から、中学校の授業に対する感想や意見をもらうことができ、授業改善に役立ちました。



付箋を貼りながら深まる協議



付箋をグルーピングすると課題が明確に

## 今後の課題は・・・

深まりのある授業研究会にするために、付箋の活用の仕方や授業研究会の進め方を更に研究していくこと。

各教科の教材分析やねらいの設定については、より専門的な視点からの意見交換等を行う必要があること。

## 先生方の声

授業を観察し合うことにより、改めてよい授業とはどういうものかを深く考えさせられました。

推進委員会を設置し、授業研究会の班編制や授業週間の設定などを工夫したことで、同僚性がかかなり高まったと思います。

授業の組み立て方や、グループ編成、展開や指示の仕方など、気づきがたくさんあって参考になりました。

年に一度、全員による研究授業・授業研究会を行ってみるとよいと思います。

水	合唱コンクール	金	総合学
木	研究授業週間 ~11/12	土	
金		日	
土		月	学年会 生徒会)
日		火	
月	避難訓練 学年会	水	運営委
火		木	
水	現職教育	金	
木		土	

年3回、授業研究週間を設定



# 県立宇都宮清陵高等学校



所在地: 宇都宮市竹下町908-3  
教職員数 66名  
学級数 21(普通)

昭和60年に開校、普通科高校でも科学や技術も学べるように科学技術という教科を設け、指導に力を入れてきました。また、習熟度別学習指導、課外授業、学習合宿、個別指導など、学力向上のための工夫を随所で行っています。

## こんな成果が上がっています



生徒の学びの姿を基に話し合い

### 輪番で司会者（プロンプター）を経験

学習指導部のスタッフが、交替で司会者（プロンプター）を務め授業研究会を行いました。司会者（プロンプター）の役割を複数の教員が行えるようになりました。

### ワークショップ型授業研究会の実施

ワークショップ型授業研究会を導入してみました。公開された授業の教科の教員だけでなく、他の複数の教科からも参加があり教科の枠を超えて学び合う機会になりました。

### 基本研修と関連付けた授業研究会の実施

初任者研修、教職5年目・10年目研修と校内研修とを関連付けて授業研究会を行いました。

協議の内容を焦点化することで、放課後の限られた時間の中で効果的に協議できるようになりました。



論点を絞って、深まる協議



生徒の反応を確かめながらの授業展開

## 今後の課題は・・・

ワークショップ型授業研究会を、全教員が経験すること。

教科の枠を超えた普遍的な指導法だけでなく、専門教科ごとの指導内容や方法について、授業研究会で協議を深めること。

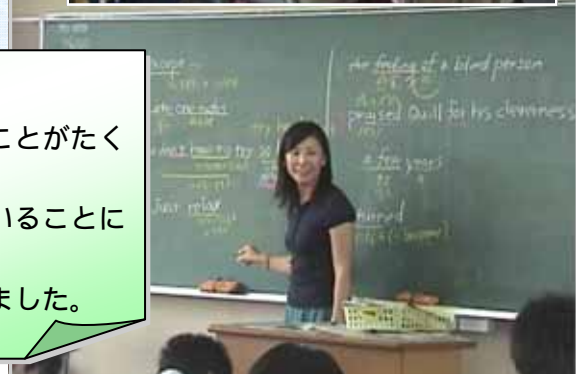
### 先生方の声

教員間の風通しがよくなりました。

他教科の授業でも、指導法として自分の教科の参考になることがたくさんありました。

生徒を見て授業しているつもりでも、見えていない生徒がいることに気がきました。

生徒の表情やつぶやきに気を付けて授業をするようになりました。



# 県立栃木農業高等学校



所在地: 栃木市平井町911  
 教職員数 82名  
 学級数 15(農業3、  
 農業土木3、生物工学3  
 食品科学3、生活科学3)

生徒一人一人の個性を大切に、自分の将来の生き方や在り方を見通し、興味・関心や進路に応じて、学科の枠を超えて自由に選択できる科目を設けています。基礎・基本を大切に、技術の習得、思考力を高める学習を行っています。

## こんな成果が上がっています

### 授業研究会についての事前研修会の実施

ワークショップ型授業研究会を導入するに当たり、全員が参加して校内研修会を開き、授業研究会の手法について、概論と実践方法を学び、教員全体の共通理解を図りました。

### 教科の枠を超えた授業研究会

学科や教科の枠を超えて、授業研究会を行うことができました。自分の授業では見られない生徒の姿が発見でき、生徒理解が深まりました。

### 記録用紙の活用

生徒に視点を当てて授業を見るという手法を知ったことで、授業公開週間の際に交わされた記録用紙に、これまで以上に、具体的なアドバイスなどがたくさん書かれるようになりました。



生徒の様子を熱心に観察

## 今後の課題は・・・

より多くの教員が授業者としてワークショップ型授業研究会を経験して、そのよさを実感するとともに、授業改善に生かしていくこと。

既に経験した教員は、更に経験を積んで、これまで以上に授業力の向上に生かすこと。



本時のねらいと達成のための手立ては？



### 先生方の声

自分の授業ではおとなしい生徒が、音楽の授業ではリーダーになっているのを見て、新たな一面を知りました。生徒に視点を当てて見てもらえるので、授業改善の新たな課題が発見できました。こういう授業研究会ならまたやりたいです。授業者も他の教科の参加者も、自分の授業を見直す機会となりました。

公開授業・研究授業見学記録用紙  
 見学者氏名

日時	平成20年11月12日	曜日	木	授業者氏名	
実施クラス	1年4組	教科・科目名	音楽I		

見学記録

- 良かった点・内容  
 思ったよりもきちんと生徒が声を出していい良かったと思う。パート別練習でもそれぞれリーダーがうまくまとめていた。
- 疑問があった点・内容  
 説明をするときは、一度落ち着かせ、教員の方を注目させてからやった方がいいと感じた。  
 パート別練習の前にリーダーを名指しするが、リーダーに立候補する生徒に競争させて、他の生徒にリーダーが分かるようにした方が、まとまりやすい、責任感もあるのではと思った。
- 授業担当者へのアドバイス、その他気づいた点  
 生徒が楽しんで授業を受けていて、楽しそうに歌っているので良かったと思いました。1回目よりも後にぼるにつれて声も出ていい良かったです。研究授業も頑張ってください。

☆ご記入後、授業担当の先生と学習指導部(コピー)へお渡しください。

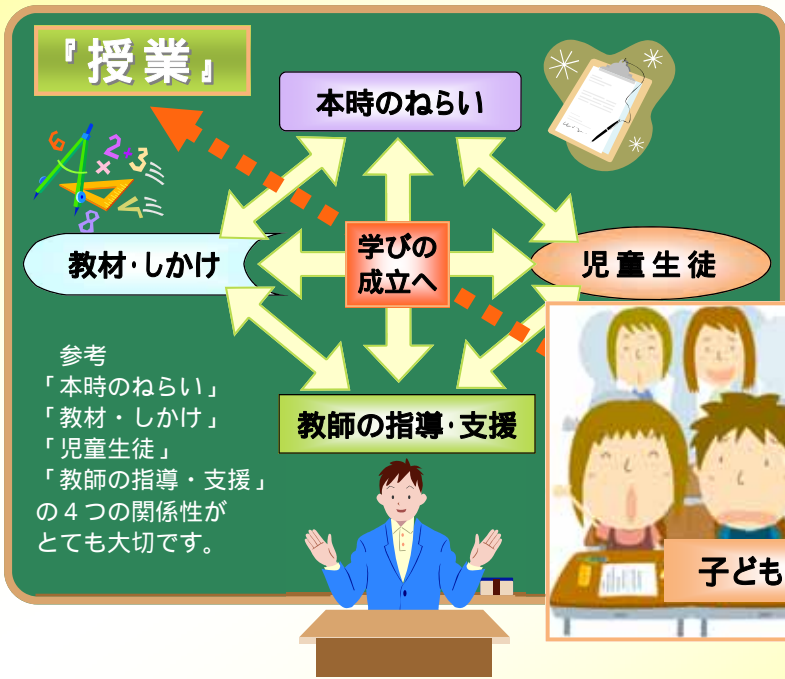
授業公開の際に使用した記録用紙



## 「子どもの学ぶ姿」を観ることが大切です

授業にはねらいがあり、そのねらいが達成できたかどうかは、授業における児童生徒の観察や、ノート等の記述状況によって判断されます。ここに、「教師が何をどう教えたか」ばかりではなく、「児童生徒が何をどう学んだか(子どもの学ぶ姿)」に視点を当てて授業を観察する必要性があるのです。

「授業を観る目」を鍛え、「児童生徒の学びの事実」に即して、語り合う授業研究会を実践していきましょう。



### 子どもの学ぶ姿から見えるもの(例)

<b>本時のねらい(授業設計)</b>
ねらいの設定は？
<b>教材・しかけ(手立て)</b>
教材の解釈や分析などの教材研究は？
ねらいを達成するための手立ては？
<b>児童生徒</b>
児童生徒の実態は？
児童生徒の反応は？
<b>教師の指導・支援</b>
授業構成力については？
教師の指導技術は？
教師の評価力は？

## - 授業研究会の充実に向けて -

### 授業研究会を活性化するために

#### 付箋の記入が少ない場合には、観察位置や記入すべき内容を確認しましょう

- ・教室の側面や前面など児童生徒の表情が見える位置に立ち、次のような内容について観察する  
(例) 表情やつぶやき 取組や変容 つまずき 授業者の投げかけに対する反応  
児童生徒の反応に対する授業者の対応 等

#### 話し合いのルールを決め、参加者全員で確認しましょう

- ・授業者への批判は厳禁 ・発言は短く簡潔に ・だれもが発言する場の設定

### 協議内容を更に深めるために

#### 授業研究会の目的を確認し、話し合う内容を焦点化しましょう

- ・事前に授業のねらい等を示しておく ・何を中心に協議するか吟味し明示する
- ・付箋を貼る模造紙の形式(時系列、マトリックス)などを目的に応じて選択する

#### 授業研究会の流れを工夫し、改善策を考える時間を設けましょう

- (例) 授業リフレクション(50分) 課題の確認(5分) 解決策の記入(5分) 協議(20分)

### 日ごろの実践と結び付けるために

#### 自己研修や校外研修と関連付けて、OJT<sup>2</sup>として機能させましょう

- ・授業研究会での気づきを基に自分の研究課題を設定したり、校外研修との関連を図ったりする  
2 (= On the job training) 日々の仕事を通して、教員の資質能力の向上を図ること

#### 共有した課題を意識して、情報交換をしながら日々の授業を実践しましょう

- ・課題克服に向けて、同僚の助言や児童生徒の授業評価を活用しながら、日々の授業を行う

各学校で、実態や課題は違います。付箋を使うのは一つの手法にすぎません。授業研究会を何回も繰り返しながら、運営の仕方などを工夫改善し、自校の校内研修のスタイルを作り上げることが最も大切なことです。

ワークショップ型授業研究会の詳しい手法等については、平成19年度調査研究事業 刊行物『授業評価と授業研究会に関する参考資料(高等学校) - 校内研修を通じた授業改善を目指して -』に示してあります。当センターホームページ(<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/>)よりダウンロードし、ご活用ください。また、校内研修の実施に際しては、当センター指導主事の派遣が可能です。研究調査部へお問い合わせください。TEL:028-665-7204